

# Canon

## *PowerShot* GOLF



詳細ガイド

この使用説明書は、PowerShot GOLFのファームウェアが Ver.1.0.0以上であることを前提に説明しています。

# 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| はじめに .....         | 4  |
| レーザー距離計と主な付属品..... | 5  |
| 使用説明書について .....    | 6  |
| すぐ使用するには.....      | 7  |
| このガイドについて .....    | 10 |
| 使用できるカードについて ..... | 11 |
| 安全上のご注意 .....      | 12 |
| 取り扱い上のご注意 .....    | 15 |
| 距離計について理解する .....  | 17 |
| 各部の名称 .....        | 19 |
| 準備と基本操作 .....      | 20 |
| 充電する .....         | 21 |
| カードを入れる／取り出す ..... | 22 |
| 電源を入れる .....       | 25 |
| 基本操作 .....         | 26 |
| メニュー機能の操作と設定 ..... | 31 |
| 測距 .....           | 35 |
| レーザー距離計の使用 .....   | 36 |
| 静止画撮影 .....        | 40 |
| 動画撮影 .....         | 42 |
| モード .....          | 44 |
| SLOPE .....        | 45 |
| 単位 .....           | 46 |
| バイブレーション.....      | 47 |

|                    |    |
|--------------------|----|
| 撮影 .....           | 48 |
| 露出補正 .....         | 49 |
| コンティニュアス AF .....  | 51 |
| 動画記録サイズ .....      | 53 |
| 再生 .....           | 55 |
| 再生 .....           | 56 |
| 画像消去 .....         | 60 |
| カード初期化 .....       | 63 |
| 機能設定 .....         | 65 |
| 日付／時刻／エリア .....    | 66 |
| 節電 .....           | 71 |
| ビデオ方式 .....        | 73 |
| 言語 .....           | 74 |
| レーザー距離計設定初期化 ..... | 76 |
| その他の情報 .....       | 77 |
| 資料 .....           | 78 |
| 故障かな？と思ったら .....   | 79 |
| エラーメッセージ .....     | 83 |
| 情報表示 .....         | 84 |
| 主な仕様 .....         | 86 |
| 本製品を廃棄するときは .....  | 93 |
| 商標・ライセンスについて ..... | 98 |

# はじめに

## はじめに必ずお読みください

本製品はカメラを付属したレーザー距離計です。

レーザー距離計を使用しての失敗や事故を未然に防ぐため、はじめに[安全上のご注意](#)、および[取り扱い上のご注意](#)をお読みください。また、この「詳細ガイド」をよく読んで正しくお使いください。

## 試し撮りと撮影内容の補償について

撮影後は画像を再生して、画像が正常に記録されていることを確認してください。万一、レーザー距離計（本機）やメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの画像の取り込みができなかった場合の、記録内容の補償についてはご容赦ください。

## 著作権について

あなたがレーザー距離計（本機）で記録した権利者のいる被写体の画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

## ファームウェアのバージョンについて

キヤノンの Web サイトから最新のファームウェアをダウンロードして、バージョンアップを行ってください。レーザー距離計のファームウェアをアップデートすると、自動的にレーザー距離計の電源が切れます。

### 周辺機器との接続について

レーザー距離計をパソコンなどと接続するときは、純正のインターフェースケーブルを使用してください。ケーブルの長さは1 m以下を推奨いたします。

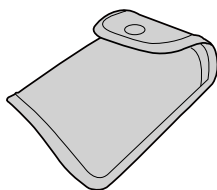
- [レーザー距離計と主な付属品](#)
- [使用説明書について](#)
- [すぐ使用するには](#)
- [このガイドについて](#)
- [使用できるカードについて](#)
- [安全上のご注意](#)
- [取り扱い上のご注意](#)
- [距離計について理解する](#)
- [各部の名称](#)

# レーザー距離計と主な付属品

ご使用前に、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。万一、足りないものがあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。



レーザー距離計



携帯ケース

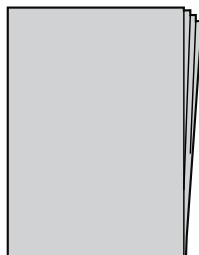
- メモリーカード (SD) は付属していません。
- バッテリーは本体に内蔵されています。
- 付属品は、なくさないように注意してください。

## ⚠ 注意

- インターフェースケーブル使用時は、通信速度がHi-Speed USB (USB 2.0) 相当になります。

# 使用説明書について

---



レーザー距離計の電源を入れるまでの操作手順と機能をまとめた「使用説明書」が、製品に付属しています。

- 詳細ガイド

すべての使い方は、この「詳細ガイド」で説明しています。

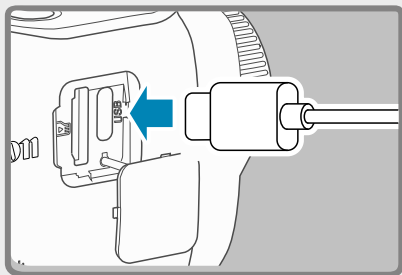
最新の詳細ガイドは、下記のサイトでご確認ください。

<https://cam.start.canon/C019/>



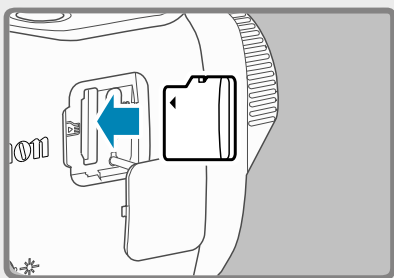
# すぐ使用するには

## 1. 充電する (☑)

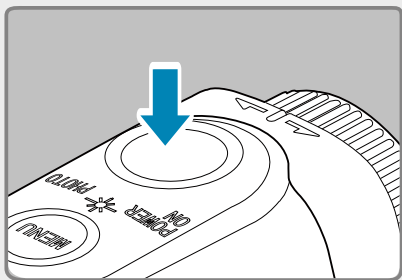


- 購入時は充電してからお使いください (☑)。

## 2. カードを入れる (☑)

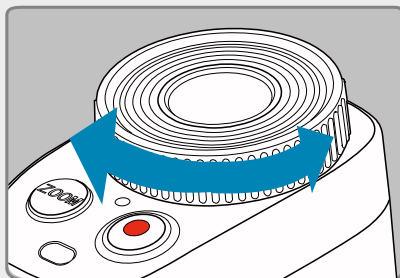


## 3. 電源を入れる (☑)



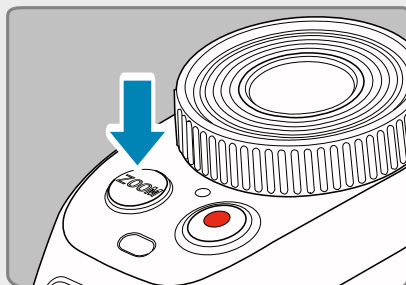
- 〈 POWER ON / \* / PHOTO 〉 ボタンを押します。

#### 4. ファインダーを調整する (🔍)



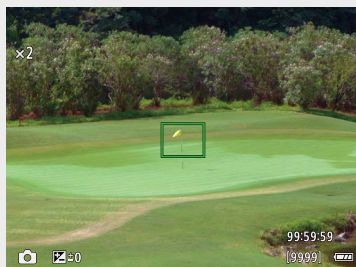
- ファインダー内が最も鮮明に見えるように、視度調整ダイヤルを回します。

#### 5. ズームする



- 〈ZOOM〉ボタンを押すと、押すたびにズームが切り替わります。

## 6. ピントを合わせる (📷)



- 撮影だけをするときは、  
〈LASER〉レバーを〈OFF〉  
に回します。

- ファインダーをのぞき、詳しく見たいものを画面中央に配置します。
- シャッターボタンを軽く押すと、ピントが合います。
- さらにシャッターボタンを押すと静止画を撮影することができます。



- 測距と撮影をするときは、  
〈LASER〉レバーを〈📏〉に回  
します。

## 7. 撮影した画像を確認する



- 撮影した画像を確認する場合、〈MENU〉ボタンを数秒間押し続けるか、  
[▶:再生]メニュー (📷) を使用します。

# このガイドについて

---

 [本文中の絵文字について](#)

 [操作説明の前提と作例写真について](#)

## 本文中の絵文字について

---

〈 POWER ON /  / PHOTO 〉 設定ボタンを示しています。

- その他、本文中の操作ボタンや設定位置の説明には、ボタンやファインダーの表示など、レーザー距離計で使われている絵文字を使用しています。



関連トピックへのリンクを示しています。



撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項を記載しています。



補足説明や補足事項を記載しています。

## 操作説明の前提と作例写真について

---

- 電源が入っていることを前提に説明しています ( )。
- メニュー機能などが初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このガイドで使用している作例写真は、効果を分かりやすく伝えるためのイメージです。

# 使用できるカードについて

---

このガイドでは、使用できるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。

カードの容量に関わらず下記のカードが使用できます。なお、新しく買ったカードや、他のカメラ、パソコンなどで初期化したカードは、このレーザー距離計で初期化（フォーマット）してください（🔗）。

● microSD / microSDHC / microSDXC メモリーカード 

\* UHS-I 対応

## 動画が記録できるカードについて

---

動画を撮影するときは、動画記録画質に適応する性能（書き込み / 読み取り速度）を備えたカードを使用してください（🔗）。

# 安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。  
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。



**警告**

死亡や重症を負う恐れがある内容です。

- 乳幼児の手の届くところに置かない。  
ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。  
レーザー距離計、アクセサリーの部品や付属品を飲み込むと危険です。飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解や改造をしない。
- 強い衝撃や振動を与えない。
- 破損したときは、内部に触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
- 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。

感電、破裂、火災の原因となります。

- 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。

感電の原因となります。

- バッテリーチャージャーやACアダプターを使うときは、次のことに注意する。
  - 電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
  - ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
  - 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
  - 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
  - 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーやACアダプターに触れない。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- 電源に長時間つないだままにしない。
- 5℃～40℃の範囲外で充電しない。

感電、破裂、火災の原因となります。

- 長時間、身体と同じ部位に触れさせたまま使わない。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。

- 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となる恐れがあります。

**この製品は、目に見えないレーザー光を使用しています。  
安全なレーザーを使用していますが、次のことに十分注意してください。**

- レーザー光を直接見たり、レーザー投光部をのぞきこまない。  
失明や視力障害の原因になることがあります。
- 人の目に向けてレーザー光を照射しない。
- 人に向けて照射しない。
- レーザー距離計を使用しないときは〈**LASER**〉レバーをOFFにする。  
不用意にレーザー光が照射されないようにしてください。
- お子さまの手の届かないところに保管する。
- 幼児の手の届く範囲で使用しない。
- 子どもに遊ばせない。  
けがの原因になります。

**⚠ 注意** 下記の注意を守らないと、けがを負う可能性または物的損害の発生が想定されます。

- 長い時間、ファインダーを見続けない。

乗り物酔いのような症状をおこすことがあります。すぐに製品の使用を中止して休息をとってください。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。

製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

- ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。

けがやレーザー距離計の故障の原因となります。

- 使用中や使用後に肌に異常を感じた場合は、使用を中止し医師にご相談ください。

- 長時間使用したときは、すぐにカードに触れない。

カードが高温になり、やけどの原因になる恐れがあります。

- 使用中は、端子カバーが開いた状態で、端子および周辺部に長時間触れない。

低温やけどの原因となることがあります。

- 接眼レンズを太陽光に向けて置かない。

接眼レンズの集光により、ファインダー接眼部の表示部が損傷する恐れがあります。

# 取り扱い上のご注意

---

## レーザー距離計について

- レーザー距離計は精密機器です。落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- このレーザー距離計は防水構造になっていませんので、水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに修理受付窓口にご相談ください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風に当たったときは固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。
- レーザー距離計に水が付着したときは、乾いたきれいな布で、ゴミやほこり、塩分などが付着したときは、固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。
- ゴミやほこりが多い場所で使用すると、故障の原因になります。
- 使用後はレーザー距離計の清掃をおすすめします。ゴミやほこり、水、塩分などをカメラに付着したままにすると、故障の原因になります。
- レーザー距離計を磁石やモーターなどの強力な磁気が発生する装置の近くに、絶対に置かないでください。また、電波塔などの強い電波が発生しているところで使用したり、放置したりしないでください。電磁波により、レーザー距離計が誤動作したり、記録した画像データが破壊されることがあります。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レーザー距離計の故障の原因になることがありますので、このような場所にレーザー距離計を放置しないでください。
- レーザー距離計には精密な回路が内蔵されていますので、絶対に自分で分解しないでください。
- レーザー距離計を寒いところから、急に暑いところに移すと、レーザー距離計の外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。レーザー距離計を寒いところから、急に暑いところに移すときは、結露の発生を防ぐために、レーザー距離計をビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因になりますので、レーザー距離計を使用したり、カードをレーザー距離計から取り外さないでください。レーザー距離計の電源をOFFにして、水滴が完全に消えるまで待ってから、レーザー距離計を使用してください。なお、水滴が完全に消えても、レーザー距離計内部が低温になっているときは、周囲の温度になじむまで、カードをレーザー距離計から取り外さないでください。
- レーザー距離計を長期間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。保管期間中でも、ときどきシャッターを切るようにして作動することを確認してください。
- レーザー距離計の保管場所として、実験室などのような薬品を扱う場所は、さび・腐食などの原因になるため避けてください。
- 長期間使用しなかったレーザー距離計は、各部を点検してから使用してください。長期間使用しなかったあとや、海外旅行など大切な撮影の前には、各部の作動を修理受付窓口、またはご自身でチェックしてからご使用ください。
- 連続撮影を長時間繰り返したり、静止画撮影や動画撮影を長時間行くと、レーザー距離計の温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。
- 明るい光源が撮影画面の内側や外側近くにあると、ゴーストが写り込むことがあります。

## ファインダーについて

- ファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤などの点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録されている画像には影響ありません。

## カードについて

カードとその中に記録されているデータを保護するために、次の点に注意してください。

- 「落とさない」、「曲げない」、「強い力や衝撃、振動を加えない」、「濡らさない」。
- カードの接点に指や金属が触れないようにする。
- カード表面にシールなどを貼らない。
- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものや、静電気の発生しやすいところで保管、使用しない。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しない。
- ケースなどに入れて保管する。
- 温度の高いところ、ほこりや湿気の多いところに保管しない。

# 距離計について理解する

---

## レーザーについて

本製品は、目に見えないレーザー光線を使用して測定を行います。レーザー光線が距離計から目標物に達し、戻ってくるまでにかかる時間を測定します。レーザーの反射率と測定結果は、天気、環境条件、目標物の反射率、目標物の大きさ、表面光沢度、その他の特性によって変化することがあります。

下記外部要因により、距離測定において誤差や失敗が発生する可能性があります。

- 雪、雨、霧。
- 目標物が比較的小さいまたは細長い。
- 目標物が黒色または暗い色。
- 目標物が段付き表面を備えている。
- 目標物が移動または振動する。
- 水面を測定する場合。
- ガラスなどを透過して測定する目標物。
- 目標物はガラスまたは鏡面である。
- レーザーが目標物の反射面に斜めに当たったとき。

## 主な性能

- 近距離優先アルゴリズムを使用し、目標物までの距離を測定できます。
- 測定目標に前後に2つの目標物がある場合、ピンロックマーク（近距離優先測定マーク）が点灯し、最も近い目標物までの距離を示します。
- 多層コーティングが施された6倍単眼接眼レンズ。
- ワイド接眼レンズにより、快適に観察できます。
- 初期設定ではスロープ機能[SLOPE]がオンになっており、ピンの位置までの勾配を考慮した加減算距離（水平距離±高さ）を測定することができ、ゴルフに最適です。
- 連続測距：〈POWER ON//PHOTO〉ボタンを半押しすると、連続測距機能を起動することができます（最長約8秒）。
- 防水: 水中で使用するようには設計されていません。

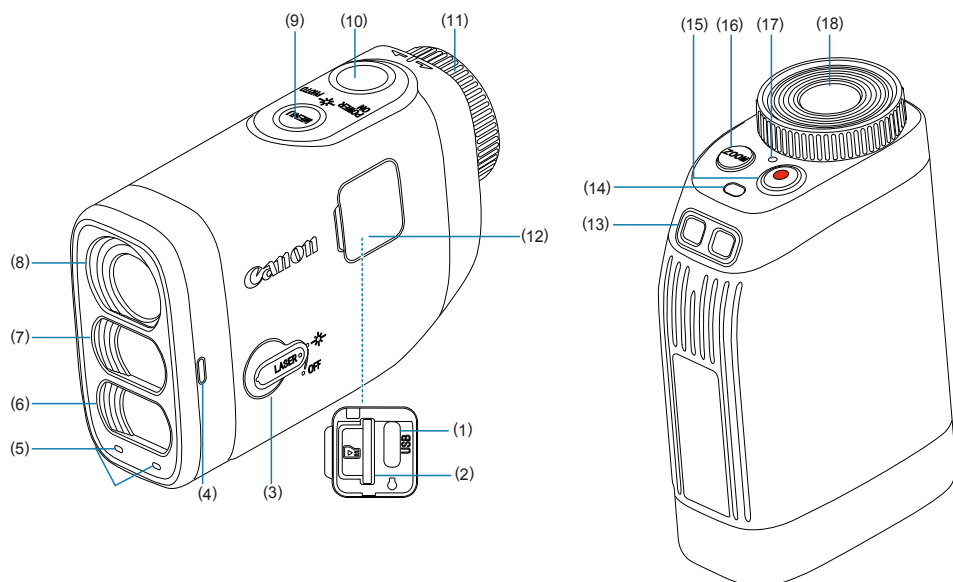
## 測定結果について

本機器による測定結果は、公式の証拠として使用することはできません。

## スロープ機能について

- 競技会でレーザー距離計を使用する際、競技ルールで加減算距離を測定してはいけない場合があります。競技前に競技ルールを必ず確認し、加減算距離の測定を禁止されている場合は、スロープ機能[SLOPE]を[しない]に設定してください。レーザー距離計は直線距離を測定します。
- スロープ機能[SLOPE]を[しない]に設定すると、加減算距離を測定していないことを知らせるスロープ機能オフランプが青色で点滅します。
- スロープ機能[SLOPE]を[しない]に設定すると、撮影した画像を確認できないようにするために、再生機能と画像削除機能も使用できなくなります。

# 各部の名称



|                                                                                                   |                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 〈 <b>USB</b> 〉 デジタル端子                                                                         | (10) 〈 <b>POWER ON</b> / <b>*/PHOTO</b> 〉<br>電源オン / 測定 / シャッターボタン                                            |
| (2) 〈  〉 カードスロット | (11) 視度調整ダイヤル                                                                                                |
| (3) 〈 <b>LASER</b> 〉 レーザーオン / オフレバー                                                               | (12) カード / 端子カバー                                                                                             |
| (4) スロープ機能オフランプ                                                                                   | (13) ストラップ取り付け部                                                                                              |
| (5) マイク                                                                                           | (14) ファインダーオンセンサー                                                                                            |
| (6) 受光部                                                                                           | (15) 〈  〉 動画撮影 / 下 / 右ボタン |
| (7) 投光部                                                                                           | (16) 〈 <b>ZOOM</b> 〉 ズーム / 上 / 左ボタン                                                                          |
| (8) レンズ                                                                                           | (17) 表示ランプ                                                                                                   |
| (9) 〈 <b>MENU</b> 〉 メニューボタン                                                                       | (18) ファインダー接眼部                                                                                               |

## 参考

- (1) デジタル端子のコネクタ形状はType-Cプラグ型で、キャノン インターフェースケーブルIFC-100U (別売) をおすすめします。ケーブルの長さは1m以下を推奨いたします。
- (13) ストラップは、キャノン リストストラップWS-800 (別売) をおすすめします。

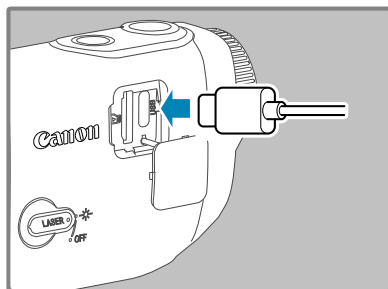
# 準備と基本操作

---

この章では、撮影に入る前にあらかじめ準備しておくことと、基本の操作について説明しています。

- [充電する](#)
- [カードを入れる／取り出す](#)
- [電源を入れる](#)
- [基本操作](#)
- [メニュー機能の操作と設定](#)

# 充電する



- 本体のデジタル端子と電源アダプター（別売）を接続し、充電してください。
  - 充電が始まると、表示ランプがオレンジ色に点灯します。
  - 表示ランプが消灯すると、充電完了です。
- **使い切った状態からフル充電までに要する時間は、常温（+23℃）で約2時間です。**なお、充電時間は周囲の温度や残量によって大きく異なります。
  - 安全に充電を行うため、低温下（+5℃～+10℃）及び高温（+35℃）では充電時間が長くなります。
  - このレーザー距離計は給電状態でも使用することができます。

## ❗ 注意

- 本体が高温になると、充電および給電が停止することがあります。

## 📖 参考

- 本製品の充電および給電には、USB電源アダプター PD-E1（別売）の使用をおすすめします。なお、市販の電源アダプターは、出力電圧/電流: 5VDC/1.0A以上の製品をご使用ください。
- 電池の性能を維持するために、定期的な充電をお勧めします。

- **購入時、電源はフル充電されていません**  
充電してからお使いください。
- **充電は使用する当日か前日にする**  
充電して保管していても、自然放電により少しずつ内蔵バッテリーの容量が少なくなっていくます。
- **レーザー距離計は0℃～+35℃の範囲で使用する**  
レーザー距離計の性能を十分に発揮させるためには、0℃～+35℃の範囲でを使用することをおすすめします。低温下では内蔵バッテリーの性能が一時的に低下し、使用できる時間が短くなることがあります。

# カードを入れる／取り出す

## ☑ 入れ方

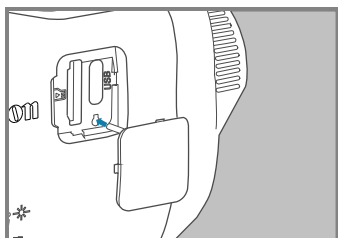
## ☑ 取り出し方

### ⚠ 注意

- microSD / microSDHC / microSDXC メモリーカード以外のカードは使用できません。

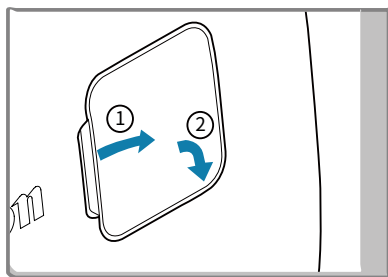
### 📖 参考

- 撮影可能枚数は、使用するカードの空き容量により変わります。
- カード／端子カバーが外れたときは、下の図のように取り付けてください。



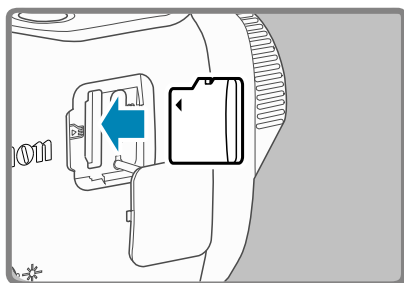
## 入れ方

### 1. カバーを開ける



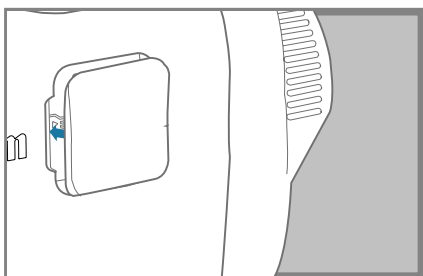
- カード／端子カバーを開いたあと、軸を中心に右へ回転させます。

## 2. カードを入れる



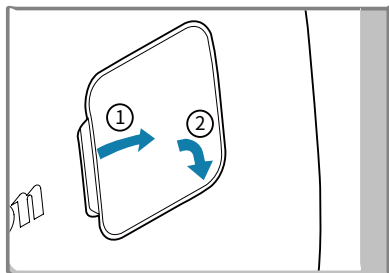
- カードの表を手前にして差し込みます。  
入れる向きを間違えるとレーザー距離計が壊れることがあります。

## 3. カバーを閉める



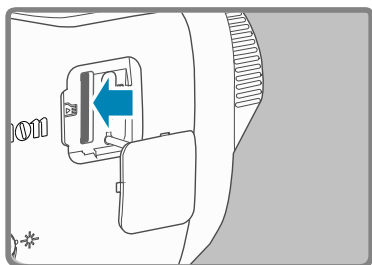
# 取り出し方

## 1. カバーを開ける



- 電源を切ります (🔌)。
- 表示ランプが消えていることを確認して、カバーを開いたあと、軸を中心に右へ回転させます。

## 2. カードを取り出す



- カードを押し込むと、カードが出てきます。
- カードをまっすぐに取り出して、カバーを閉じます。

### ❗ 注意

- 表示ランプが点灯しているときは、カードへの記録／読み出し中や、消去中、データ転送中です。カード／端子カバーを開けないでください。また、表示ランプが点灯しているときに次のことを行くと、画像データが壊れたり、カードやレーザー距離計本体が損傷する原因になるため、絶対に行わないでください。

#### ● カードを取り出す

#### ● レーザー距離計本体に振動や衝撃を与える

- ファインダーにカードのトラブルに関するメッセージが表示されたときは、カードの抜き差しを行ってください。それでも改善しないときは、別のカードに交換してください。

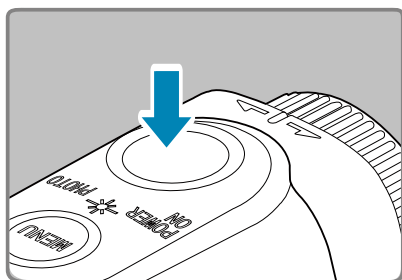
なお、パソコンでカードの内容が読み取れるときは、カード内のデータをすべてパソコンに保存したあと、レーザー距離計でカードを初期化してください

(🔌)。正常な状態に戻ることがあります。

# 電源を入れる

☑ [日付／時刻／エリアを設定する](#)

☑ [表示言語を変更する](#)



- 〈POWER ON / \* / PHOTO〉ボタンを押すと、電源が入ります。  
電源をオフにするには、〈MENU〉ボタンと〈ZOOM〉ボタンを同時に数秒間押ししてください。

## 参考

- 初期設定では「オートパワーオフ」が「5秒」で設定されています。レーザー距離計の操作がされないとき、5秒で自動的に電源が切れます。電源が自動的に切れるまでの時間を変更できます。☑
- ファインダーを見るなどしてファインダーオンセンサーに顔を近づけると、オートパワーオフの時間の計測は停止します。顔を離すとオートパワーオフの時間の計測が開始されて、表示ランプが点滅します。
- オートパワーオフの計測時間が設定時間になると電源が切れて、表示ランプの点滅が消えます。
- オートパワーオフの計測中にファインダーオンセンサーに顔を近づけたり手でおおうと、オートパワーオフの時間の計測は停止して電源は切れません。表示ランプの点滅も消えます。
- 距離計をケースに収納する場合は、表示ランプの点滅が消えて電源が切れていることを確認してから収納してください。表示ランプ点滅中に距離計をケースに収納すると、ファインダーオンセンサーがおおわれて電源が切れずに電池が消耗します。

## 日付／時刻／エリアを設定する

電源を入れたときに、日付/時刻/エリアの設定画面が表示されたときは、[日付／時刻／エリア](#)を参照してください。

## 表示言語を変更する

表示言語を変更するときは、[言語](#)を参照してください。

# 基本操作

---

 [構え方](#)

 [ファインダーの調整](#)

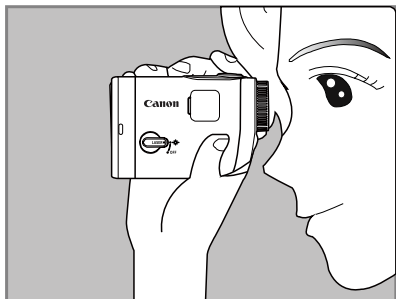
 [ズームボタン](#)

 [シャッターボタン](#)

## 構え方

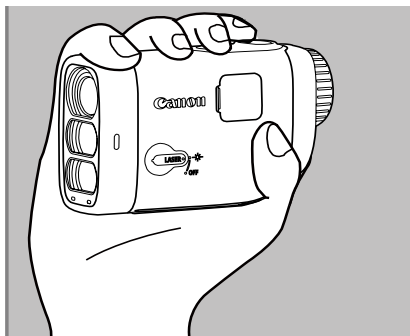
このレーザー距離計は、状況に応じていろいろな構え方で使用することができます。

### 「測距する」・「観る」時の構え方



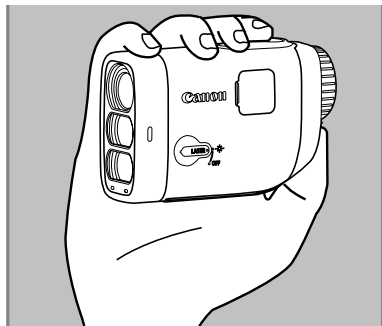
- レーザー距離計の前方を軽く持ちます。

### しっかり「観る」時の構え方



- レーザー距離計を包むようにしっかり握ります。
- 人差し指を〈POWER ON/**\***/PHOTO〉ボタンに軽くのせます。
- 中指を〈**MENU**〉ボタンに軽くのせます。
- 親指でカード/端子カバーを強く押さないでください。

## 「撮る」時の構え方



- レーザー距離計を包むようにしっかり握ります。
- 人差し指を〈POWER ON/**\***/PHOTO〉ボタンに軽くのせます。
- 親指で〈**ZOOM**〉/〈**●**〉ボタンを操作します。

## しっかり「撮る」時の構え方



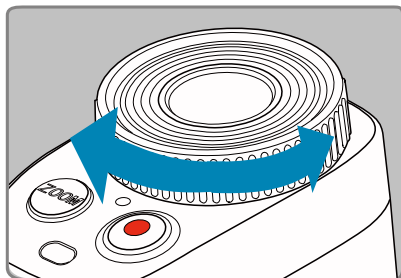
- レーザー距離計を包むようにしっかり握ります。
- 反対の手でレーザー距離計を下から支えるように持ちます。
- 人差し指を〈POWER ON/**\***/PHOTO〉ボタンに軽くのせます。
- 親指で〈**ZOOM**〉/〈**●**〉ボタンを操作します。
- 脇をしっかり締め、両肘を軽く体の前に付けます。
- レーザー距離計を額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。

### 参考

- レーザー距離計を持つ手と、ファインダーをのぞく目は、それぞれ逆にすることができます。

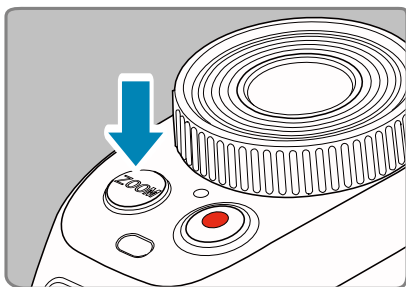
## ファインダーの調整

### 視度調整ダイヤルを調整する



- ファインダーをのぞきながら、表示が鮮明に見えるように、視度調整ダイヤルを回します。

## ズームボタン



- 〈ZOOM〉 ボタンを押すと、押すたびにズームが切り替わります。

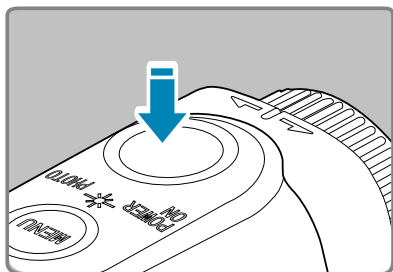
#### 参考

- 望遠側はデジタルズームになりますので、画質が粗くなります。

## シャッター・測距ボタン

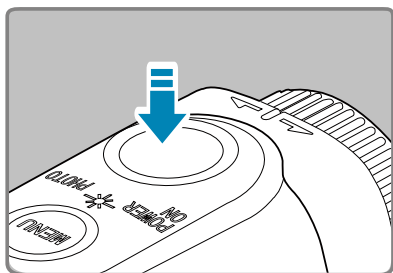
シャッターボタンは二段階になっています。シャッターボタンを一段目まで浅く押すことを「半押し」といいます。半押しからさらに二段目まで深く押すことを「全押し」といいます。

### 半押し



- 自動ピント合わせが行われます。 (☑)
- 測距ができます。 (☑)

### 全押し（静止画撮影時）



撮影されます。

- 手ブレにくい撮影のしかた
  - [構え方](#)のように、レーザー距離計が動かないようしっかり構える。
  - 静止画撮影時は、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせたあと、ゆっくりシャッターボタンを全押しする。

# メニュー機能の操作と設定

---

 [メニュー画面](#)

 [メニュー機能の設定操作](#)

## メニュー画面



(1) メニュー項目

(2) メインタブ

(3) ㄗ：測距

(4) 照：撮影

(5) 再生：再生

(6) 機能設定：機能設定

(7) 設定内容

# メニュー機能の設定操作

## 1. メニューを表示する



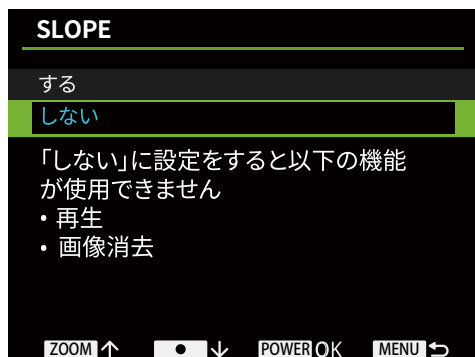
- 〈MENU〉ボタンを押すと、メニューが表示されます。

## 2. 項目を選ぶ



- 〈ZOOM〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して項目を選び、〈POWER ON /  / PHOTO〉を押します。

### 3. 内容を選ぶ



- 〈**ZOOM**〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して内容を選びます。
- 現在設定されている内容は青色で表示されます。

### 4. 内容を設定する



- 〈POWER ON/※/PHOTO〉を押すと設定されます。

### 5. 設定を終了する

- 〈**MENU**〉ボタンを押します。

#### 参考

- これ以降のメニュー機能の説明は、〈**MENU**〉ボタンを押して、メニュー画面が表示されていることを前提に説明しています。
- 操作の途中でキャンセルするときは、〈**MENU**〉ボタンを押します。

本章では[測距]測距設定ページのメニュー設定を説明します。

- [レーザー距離計の使用](#)
- [静止画撮影](#)
- [動画撮影](#)
- [モード](#)
- [SLOPE](#)
- [単位](#)
- [バイブレーション](#)

# レーザー距離計の使用

## 機能

### ● 近距離優先アルゴリズム

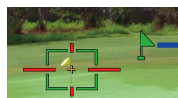
重なっている対象物を測定する場合、近距離優先アルゴリズムは、最も近い対象物までの距離を示します。

### ● 近距離優先測定のお知らせ機能

重なった対象物を測定する、例えば木の茂みの手前にピンがある場合、最も近い対象物であるピンまでの距離を示します。▲ピンロックマーク（近距離優先測定マーク）はファインダー中で点灯します。

単発測定(🔍)：重なった対象物を測定する場合、最も近い対象物までの距離を示すときに▲ピンロックマークが表示されます。

連続測定(🔍)：表示されている距離から、より近い対象物までの距離を測定し直した場合、▲ピンロックマークが表示されます。



ピンロックマークの点灯

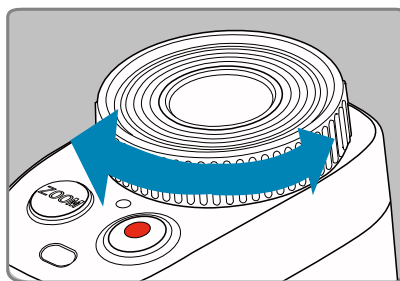
## 測距

万が一、本取扱説明書の指示に従わずに制御、調整、使用した場合、レーザー放射により健康に悪影響または損害が発生する恐れがあります。

測距前に、「メニュー画面」を参考にして、メニューを確認し、設定を変更してください。

1. 〈POWER ON/※/PHOTO〉ボタンを全押しして電源をオンにします。

- 〈LASER〉レバーを〈※〉に回します。
- ファインダー接眼部が最も鮮明に見えるように、視度調整ダイヤルを右または左に回します。



2. 目標物に照準を合わせます。



- 目標物を、十字レチクルの中央位置に合わせます。

### 3. 〈POWER ON/※/PHOTO〉を半押しすると、測距ができます。



- 距離は画面中表示されます。
- 測定後、測定結果は、電源が自動オフになるまで表示されたままです。
- 〈POWER ON/※/PHOTO〉ボタンを全押しして電源をオンにすると、再度測定を行うことができます。

#### ● 一回測定（単発測定）

〈POWER ON/※/PHOTO〉ボタンを半押ししてすぐに離すと一回測定（単発測定）し、結果を表示します。



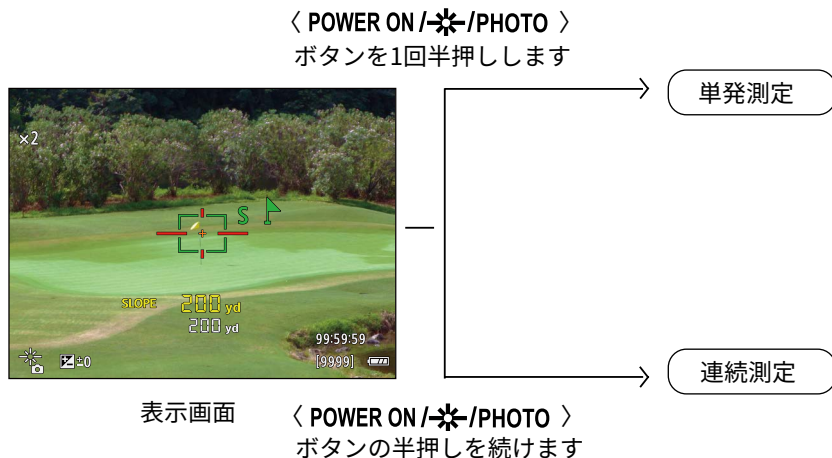
距離測定の表示例



測定の失敗例

## ● 連続測定

〈POWER ON /  / PHOTO〉ボタンの半押しを続けると、最大約8秒間の連続測定を起動します。測定中は〈S〉マークが点滅し、その後、測定結果を連続表示します。指をボタンから離すと、連続測定は停止します。



### \* ゴルフ場のピンまでの距離を測定する場合

連続測定機能を使用して、ピンを十字レチクルの中央になるように合わせ続けながら測距することで、手持ちによる振動の影響を少なくすることができます。

# 静止画撮影

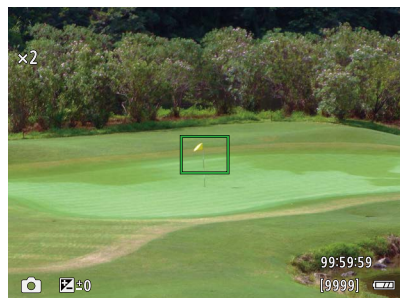
〈LASER〉レーザーオン/オフレバーを〈〉にすると距離の表示も画像に記録されます。〈OFF〉にすると距離の表示は画像に記録されません。



## ❗ 注意

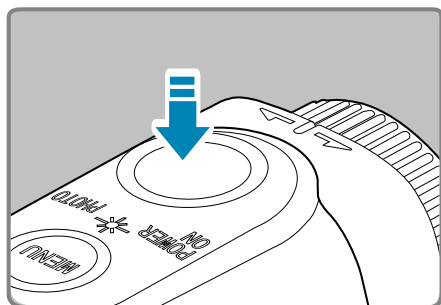
- レーザーオン/オフレバーを 〈〉 にして、人物を撮影しないでください。

## 1. ピントを合わせる



- 〈POWER ON//PHOTO〉 ボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。
- ピントが合うと、緑の枠が表示されます。
- レーザー距離計が被写体に焦点を合わせることができない場合、赤枠が表示されます。

## 2. 撮影する



- 〈POWER ON / \* / PHOTO〉ボタンを全押しします。
- 撮影する画像を確認するためには、〈MENU〉ボタンを数秒間押すか、  
[▶:再生]メニュー (🔗) を使用します。

# 動画撮影

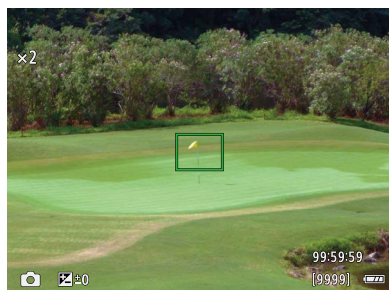
〈LASER〉 レーザーオン / オフレバーを 〈〉 にすると距離の表示も画面に記録されます。〈OFF〉 にすると距離の表示は画面に記録されません。



## ❗ 注意

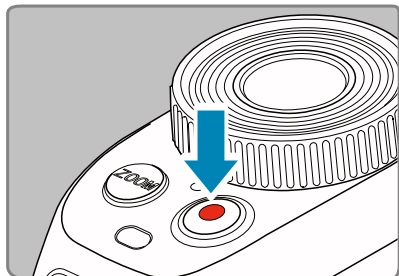
- レーザーオン/オフレバーを 〈〉 にした状態で、動画撮影中に人物に距離計を向けて 〈POWER ON /  / PHOTO〉 を押して距離を測定しないでください。

## 1. ピントを合わせる

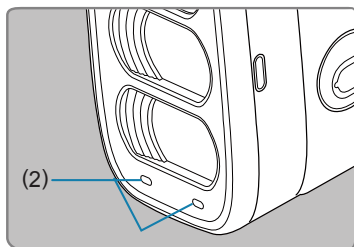


- 〈POWER ON /  / PHOTO〉 ボタンを半押しすると、ピント合わせが行われます。
- ピントが合うと、緑の枠が表示されます。

## 2. 撮影する



- 〈●〉ボタンを押すと、動画撮影が始まります。
- 動画撮影中は画面右上に〔●REC〕(1)が表示されます。



- 音声はマイク (2) で記録されます。
- もう一度 〈●〉ボタンを押すと、動画撮影が終了します。
- 撮影する画像を確認するためには、〈MENU〉ボタンを数秒間押すか、  
[▶:再生]メニュー (🔍) を使用します。

#### ⚠ 注意

- 動画撮影中にレーザー距離計の操作を行うと、レーザー距離計に内蔵されたマイクにより、レーザー距離計の操作音が一緒に録音されることがあります。

#### 📖 参考

- 音声はステレオで録音されます。

# モード

この機能では、距離測定と写真撮影を実行できます。

\* 〈LASER〉レバーを〈〉に回します。

## 1. [ : モード] を選ぶ



## 2. モード項目を設定します。



- [] 測距+撮影

〈POWER ON /  / PHOTO〉ボタンを半押し、全押しすると、測距と写真撮影ができます。

- [] 測距

〈POWER ON /  / PHOTO〉ボタンを半押しすると、測距できます。

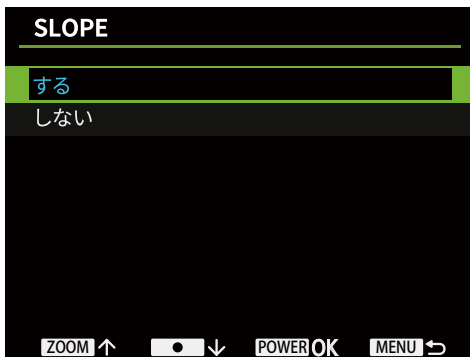
# SLOPE

SLOPE機能の設定ができます。

## 1. [※ : SLOPE] を選ぶ



## 2. [する] を選ぶ



\*SLOPE（スロープ）の設定がオフである場合、レーザー距離計のスロープ機能オフランプが点滅します。

### ④ 注意

- 競技ルールにより、撮影した画像の確認が禁止されている場合がありますので、SLOPE機能を「しない」に設定すると、以下の機能も使用できなくなります。
  - ・再生
  - ・画像消去
- 競技で使用する際には、必ず事前にローカルルールをご確認ください。

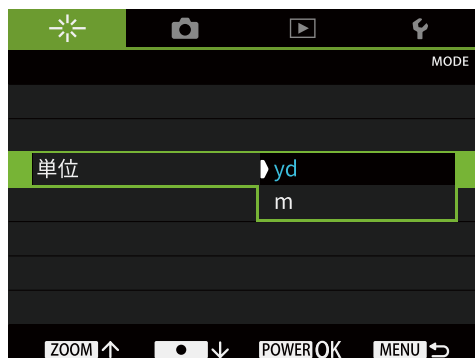
# 単位

測定結果の表示単位は、yd（ヤード）とm（メートル）を選択できます。デフォルトはyd（ヤード）です。

## 1. [ : 単位 ] を選ぶ



## 2. [yd] を選ぶ



- レーザー距離計がオフになっていても、この設定は保存されます。

# バイブレーション

## 1. [※ : バイブレーション] を選ぶ



## 2. [する] を選ぶ



- 単発測定：測距成功後に振動する。
- 連続測定：ピンロックマーク  が現れた後に振動する。

### ❗ 注意

- 動画撮影中、距離測定（単発または連続）に成功しても、レーザー距離計は振動しません。

本章では撮影[]設定ページのメニュー設定を説明します。

- [露出補正](#)
- [コンティニュアス AF](#)
- [動画記録サイズ](#)

# 露出補正

レーザー距離計が決めた標準的な露出に対して、明るめ（プラス補正）にしたり、暗め（マイナス補正）にすることを「露出補正」といいます。

補正できる範囲は、1/3段ステップ±3段です。

## 1. [📷：露出補正] を選ぶ



## 2. 補正量を設定する

明るく（プラス）補正



## 暗く（マイナス）補正



- 〈ZOOM〉ボタンまたは〈●〉ボタンで補正量を選び、〈POWER ON/※/PHOTO〉を押します。

### 3.撮影する

- 露出補正を解除するときは、露出レベル±0に戻します。

#### 参考

- 設定した補正量は、電源を切っても記憶されています。

# コンティニュアス AF

常に被写体に対しておおまかにピントを合わせ続ける機能です。

## 1. [📷: コンティニュアス AF] を選ぶ



## 2. [する] を選ぶ



### ⚠ 注意

- [する] 設定時は、常にレンズが動作してバッテリーを消耗します。

## AF のヒント

---

- ピントが合った状態でも、シャッターボタンを半押しすると、もう一度ピント合わせが行われます。
- AFの前後で、映像の明るさが変わることがあります。
- 被写体や撮影条件により、ピント合わせに時間がかかることがあります。
- 撮影中に光源（照明光）が変化すると、画面がちらついてピントが合いにくいことがあります。そのときは、電源を入れ直し、撮影する光源下でAFを行ってください。
- AFは画面の中央部で合わせます。AFを合わせたい被写体を画面の中央にして撮影してください。

## ピントが合いにくい条件

---

- 青空、単色の平面、画面上で被写体が白とびや黒つぶれしているときなど、明暗差（コントラスト）のない被写体
- 暗い場所にある被写体
- 縞模様など、水平方向のコントラストしかない被写体
- 繰り返し模様の被写体（例：ビルの窓やパソコンのキーボードなど）
- 細い線、被写体の輪郭部分
- 明るさや色、パターンが変化する光源
- 夜景など、点状の光源
- 蛍光灯やLED照明などの光源下で、映像がちらついている場合（フリッカー）
- 被写体が極端に小さい場合
- 画面の端のほうにある被写体
- 強い逆光状態、または光の反射が強い被写体（例：反射光の強い車のボディなど）
- 近くと遠くにある被写体が、AFフレームの中に入っている場合（例：おりの中の動物など）
- 手ブレや被写体ブレで、AFフレーム内の被写体が揺れ動いて、静止しない場合
- 大きくピントがぼけた状態からAFを行った場合
- AF中に画面にノイズ（輝点、縞など）が表示されている場合

# 動画記録サイズ

☑ [動画記録サイズ](#)

☑ [動画が記録できるカード](#)

☑ [撮影時間の制限](#)

【📷：動画記録サイズ】で、フレームレートを設定することができます。

## 動画記録サイズ



## 画像サイズ

| 画像サイズ |             | 縦横比    |
|-------|-------------|--------|
| FHD   | 1920 × 1080 | 16 : 9 |

## フレームレート（fps：frames per second）

- [FHD 30.00P] 30.00fps / [FHD 24.00P] 24.00fps

テレビの映像方式が「NTSC」地域（北米、日本、韓国、メキシコなど）のときに設定します。

- [FHD 25.00P] 25.00fps

テレビの映像方式が「PAL」地域（ヨーロッパ、ロシア、中国、オーストラリアなど）のときに設定します。

## 動画が記録できるカード

---

各動画記録画質で記録できるカードの詳細は、[要求カード性能（動画撮影）](#)を参照してください。

なお、**事前にテスト撮影を行い、正しく記録できることを確認してください。**

### ① 注意

- 動画撮影時に書き込み速度が遅いカードを使用すると、動画が正常に記録できないことがあります。また、動画再生時に読み取り速度が遅いカードを使用すると、動画が正常に再生できないことがあります。
- 正常に動画が記録できないときは、カードを初期化してから使用してください。なお、カードを初期化しても問題が改善しないときは、カードメーカーのホームページなどもあわせて確認してください。

## 撮影時間の制限

---

1回に撮影できる時間は最長59秒です。59秒に達した時点で動画撮影が自動的に終了します。〈●〉ボタンを押すと、動画撮影を再開することができます（新規ファイルとして記録されます）。

この章では、撮影した画像（静止画／動画）を再生する方法や、メニュー機能の「：再生タブ」に含まれる項目など、再生に関連する内容について説明しています。

## ❗ 注意

- 他のレーザー距離計で撮影した画像や、このレーザー距離計で撮影したあと、パソコンなどで画像を加工したり、ファイル名を変更した画像は、レーザー距離計で正常に表示／設定できないことがあります。

- [再生](#)
- [画像消去](#)
- [カード初期化](#)

☑ 画像の再生

☑ 動画の再生

## 画像の再生

### 1. 画像を再生する



- [▶] : 再生] を選びます。
- 最後に撮影した画像、または最後に再生した画像が表示されます。
- 〈MENU〉を数秒間押しても再生ができます。

### 2. 画像を選ぶ



〈LASER〉レバーオン時の画面



〈LASER〉レバーオフ時の画面

- 〈ZOOM〉ボタンを押すと、新しい画像から順に表示されます。
- 〈●〉ボタンを押すと、古い画像から順に表示されます。

### 3. 再生を終了する

- 〈MENU〉ボタンを押すと再生が終了します。

# 動画の再生

## 1. 画像を再生する



- [▶] : 再生] を選びます。
- < MENU > を数秒間押しても再生ができます。

## 2. 動画を選ぶ



< LASER > レバーオン時の画像画面



< LASER > レバーオフ時の画像画面

\*測距成功しない場合は数値が表示しません。

- < ZOOM > ボタンまたは < ● > ボタンを押して再生する動画を選びます。
- 画面左上に < POWER > が表示されている画像が動画です。

### 3. 〈POWER ON/※/PHOTO〉を押す



### 4. 〈POWER ON/※/PHOTO〉を押して動画を再生する

- 動画再生が始まります。
- 再生中に 〈POWER ON/※/PHOTO〉を押すと、再生が一時停止し、動画再生パネルが表示されます。もう一度押すと再開します。

## 動画再生パネル

〈ZOOM〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して選びます。

| 項目                                                                                       | 再生内容                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
|  再生     | 〈POWER ON/※/PHOTO〉を押すたびに再生／一時停止を繰り返します。                              |
|  前スキップ  | 〈POWER ON/※/PHOTO〉を押すたびに約4秒戻します。                                     |
|  フレーム戻し | 〈POWER ON/※/PHOTO〉を押すたびに1コマ戻します。<br>〈POWER ON/※/PHOTO〉を押し続けると早戻しします。 |
|  フレーム送り | 〈POWER ON/※/PHOTO〉を押すたびに1コマ送ります。<br>〈POWER ON/※/PHOTO〉を押し続けると早送りします。 |
|  次スキップ  | 〈POWER ON/※/PHOTO〉を押すたびに約4秒送ります。                                     |
|          | 再生位置                                                                 |
| mm'ss"                                                                                   | 再生時間 (mm': 分、ss": 秒)                                                 |
|          | 〈MENU〉ボタンを押すと画像再生画面に戻ります。                                            |

### ❗ 注意

- カードの読み取り速度が遅いとき、動画ファイル内のフレームが壊れているときは、動画再生が終了することがあります。
- レーザー距離計内部の温度が高いときは、動画再生ができないことがあります。また、動画再生中にレーザー距離計内部の温度が上昇したときは、動画再生が終了することがあります。
- このレーザー距離計で動画を再生したときは音声が出ません。音声をお聞きになる場合は動画再生機器をお使いください。

# 画像消去

 チェック [✓] を付けてまとめて消去

 カード内の全画像をすべて消去

不要な画像を1枚ずつ選んで消去したり、まとめて消去することができます。

## ! 注意

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

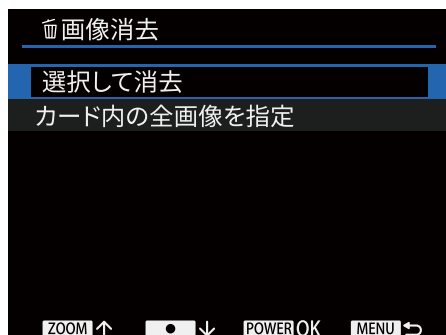
## チェック [✓] を付けてまとめて消去

消去したい画像にチェックを付けて、まとめて消去することができます。

### 1. [ : 画像消去 ] を選ぶ



### 2. [選択して消去] を選ぶ

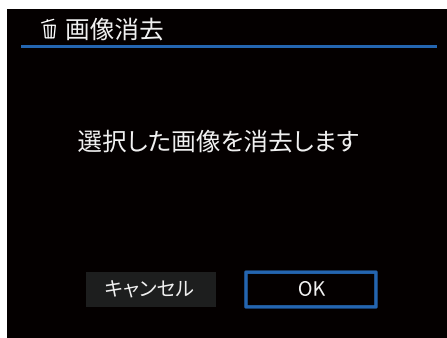


### 3.画像を選ぶ



- 〈ZOOM〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して消去する画像を選び、〈POWER ON/✱/PHOTO〉を押します。
- 他に消去したい画像があるときは、手順3を繰り返します。

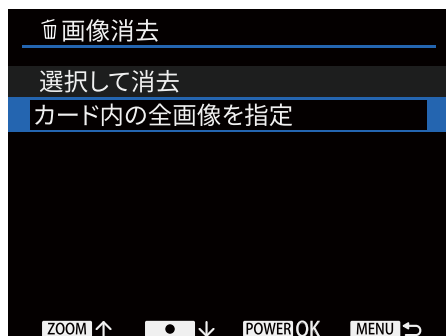
### 4.消去する



- 〈POWER ON/✱/PHOTO〉ボタンを押して [OK] を選びます。

## カード内の全画像をすべて消去

カード内のすべての画像をまとめて消去することができます。



\*保護アイコン  が表示されている画像は保護されています。画像を消去する前に、保護を解除してください。

# カード初期化

次の場合は、このレーザー距離計でカードを初期化（フォーマット）してください。

- 新しく買ってきたカードを使うとき
- 他のレーザー距離計やパソコンで初期化したカードを使うとき
- 画像やデータでカードがいっぱいになったとき

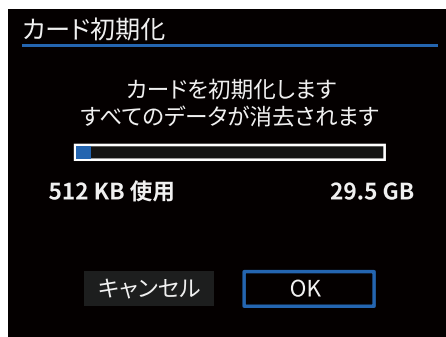
## ① 注意

- カードを初期化すると、カードに記録されている内容は、すべて消去されます。記録内容を十分に確認してから初期化してください。必要なデータは、初期化する前に必ずパソコンなどに保存してください。

## 1. [ : カード初期化 ] を選ぶ



## 2. 初期化する



- [OK] を選びます。

## カード初期化時のファイルフォーマットについて

microSDカードはFAT12/16形式、microSDHCカードはFAT32形式、microSDXCカードはexFAT形式でフォーマットされます。

### ⓘ 注意

- このレーザー距離計で初期化したmicroSDXCカードは、他のレーザー距離計では使用できないことがあります。また、exFAT形式でフォーマットされたカードは、パソコンのOSやカードリーダーによっては、正しく認識されないことがあります。
- カード内のデータは、初期化や削除では完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、注意してください。カードを廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

### 📖 参考

- カード初期化画面に表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。
- 本機器はMicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

# 機能設定

---

この章では、メニュー機能の「：機能設定タブ」の項目について説明しています。

- [日付／時刻／エリア](#)
- [節電](#)
- [ビデオ方式](#)
- [言語](#)
- [レーザー距離計の初期化](#)
- [その他の情報](#)

# 日付／時刻／エリア

初めて電源を入れたときや、日付/時刻/エリアの設定が解除されているときは、以下の操作手順に従ってエリア（地域）から設定してください。

エリアから設定しておくとし、エリア設定を変更するだけで、そのエリアの日付/時刻に変更されます。

撮影画像には撮影日時情報が付加されますので、必ず設定してください。

## 参考

- 初めて電源を入れたときは、英語で表示されます。

## 1. [🔧：日付 / 時刻 / エリア] を選ぶ



## 2. エリアを設定する



- 〈ZOOM〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して【エリア設定】を選びます。



- 〈POWER ON/☀/PHOTO〉を押します。



- 〈**ZOOM**〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押してエリアを選び、〈POWER ON/✱/PHOTO〉を押します。
- 該当するエリアがないときは、〈**MENU**〉ボタンを押して【時差】（協定世界時との時差）で設定します。



- 〈**ZOOM**〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して【時差】の項目（+/-/時/分）を選び、〈POWER ON/✱/PHOTO〉を押します。
- 〈**ZOOM**〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して設定し、〈POWER ON/✱/PHOTO〉を押します。
- エリア/時差の設定が終わったら、〈**ZOOM**〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して【OK】を選び、〈POWER ON/✱/PHOTO〉を押します。

### 3. 日付 / 時刻を設定する



- 〈ZOOM〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して項目を選び、〈POWER ON / \* / PHOTO〉を押します。
- 〈ZOOM〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して設定し、〈POWER ON / \* / PHOTO〉を押します。

### 4. サマータイムを設定する



- 必要に応じて設定します。
- 〈ZOOM〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して [☀] を選び、〈POWER ON / \* / PHOTO〉を押します。
- 〈ZOOM〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して [☀OFF] を選び、〈POWER ON / \* / PHOTO〉を押します。
- サマータイムを [☀] にすると、手順3で設定した時刻が1時間進みます。  
[☀OFF] にするとサマータイムが解除され、1時間戻ります。

## 5. 設定を終了する



- 〈**ZOOM**〉ボタンまたは〈●〉ボタンを押して [**OK**] を選びます。

### ⓘ 注意

- レーザー距離計のバッテリー残量がなくなったときや、レーザー距離計を氷点下に長時間放置したときは、日付/時刻/エリアの設定が解除されることがあります。そのときは再度設定してください。
- [**エリア/時差設定**] の内容を変更したときは、日付/時刻が正しく設定されているか確認してください。

### 📖 参考

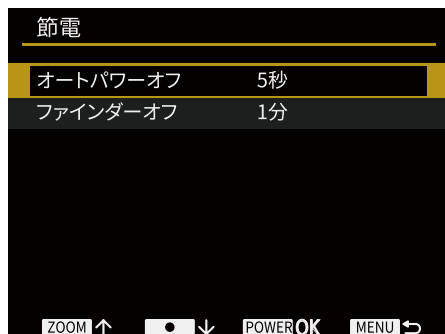
- [**📍: 日付/時刻/エリア**] の画面を表示しているときは、オートパワーオフまでの時間が延長されることがあります。

レーザー距離計の電源が切れるまでの時間（オートパワーオフ）や、ファインダーの表示が消えるまでの時間（ファインダーオフ）を変えることができます。

## 1. [🔋：節電] を選ぶ



## 2. 項目を選ぶ



#### 参考

- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は【オートパワーオフ】を5秒にすることをおすすめします。
- 【ファインダーオフ】までの時間はボタン操作で解除されます。
- 撮影中、動画再生中は、節電の設定が無効になります。

# ビデオ方式

テレビの映像方式を設定します。この設定に応じて、動画撮影時に選択できるフレームレートが変わります。

## 1. [🔧：ビデオ方式] を選ぶ



## 2. 項目を選ぶ



### ● NTSC

テレビの映像方式が「NTSC」地域（北米、日本、韓国、メキシコなど）のときに設定します。

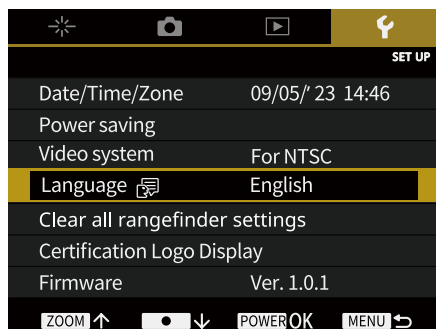
### ● PAL

テレビの映像方式が「PAL」地域（ヨーロッパ、ロシア、中国、オーストラリアなど）のときに設定します。

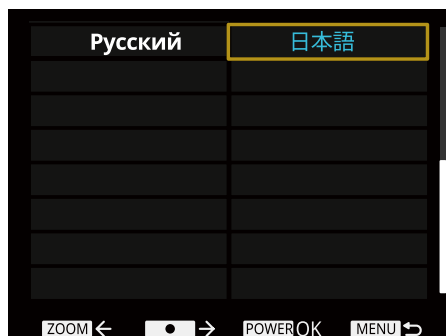
## 1. [🔧 : 言語 🗨️] を選ぶ



- 初めて設定するときは [🔧 : Language 🗨️] を選びます。



## 2. 言語を設定する



### 参考

- 初めて電源を入れたときは、言語が英語に設定されています。

# レーザー距離計設定初期化

撮影機能やメニュー機能の設定を初期状態に戻すことができます。

## 1. [🔦：レーザー距離計設定初期化] を選ぶ



## 2. 初期化する

- 確認画面で [OK] を選びます。

### 参考

- 日付/時間/エリア、言語メニューはリセットされません。

# その他の情報



- 認証マーク表示

【：認証マーク表示】を選ぶと、このレーザー距離計が対応している認証マークの一部を確認できます。また、その他の認証マークは、レーザー距離計本体、レーザー距離計が入っていた箱にも表記されています。

- ファームウェア

【：ファームウェア】を選ぶと、このレーザー距離計のファームウェアをアップデートすることができます。

この章では、撮影の参考になるレーザー距離計の機能情報などの説明を行います。

- [故障かな？と思ったら](#)
- [情報表示](#)
- [主な仕様](#)
- [本製品を廃棄するときは](#)

# 故障かな？と思ったら

 [電源関連](#)

 [撮影関連](#)

 [操作関連](#)

 [表示関連](#)

 [再生関連](#)

「レーザー距離計が故障したのかな？」と思ったら、下記の例を参考にしてレーザー距離計をチェックしてください。なお、チェックしても状態が改善しないときは、修理受付窓口にご相談ください。

## 電源関連

### 充電できない

- 充電に関する不具合は、[充電する](#)を参照してください。

### 電源を入れてもレーザー距離計が作動しない

- 充電してください ( )。

### 電源を切っても表示ランプが点灯／点滅する

- カードへの画像記録中に電源を切ると、表示ランプが数秒間点灯／点滅します。画像記録が終了すると、自動的に電源が切れます。

### 内蔵バッテリーの消耗が早い

- フル充電した状態での使用をおすすめします ( )。
- 以下の操作を行うと、作動時間や撮影可能枚数が少なくなります。
  - 動画撮影を長時間行う

### 電源が勝手に切れる

- 節電機能が働いています ( )。

## 撮影関連

### 撮影・記録ができない

- カードが正しくセットされているか確認してください (🔍)。
- カードの空き容量がない場合は、空き容量のあるカードに交換するか、不要な画像を消去してください (🔍、🗑️)。
- モードが「測距」に設定されていたら「測距＋撮影」に変えてください。

### カードが使えない

- カードのトラブルに関するメッセージが表示されたときは、[カードを入れる／取り出す](#)を参照してください。

### 画像がボケている／ブレている

- 手ブレを起こさないように、シャッターボタンを静かに押してください (🔍、🔍)。

### 【🔍】が表示される

- 動画を繰り返し撮影したり、撮影待機状態を長時間続けると、【🔍】が表示されることがあります。【🔍】が表示されたまま動画撮影を継続すると、約3分後に自動的にレーザー距離計の電源が切れます。【🔍】が表示されたときは、レーザー距離計の電源を切って、レーザー距離計内部の温度が下がるのを待ってください。

### 動画撮影時に赤い🔍が表示される

- レーザー距離計内部の温度が上昇していることを示しています。赤い【🔍】が表示されたときは、もうすぐ動画撮影が自動的に終了することを示しています。

### 動画撮影が勝手に終了する

- 書き込み速度が遅いカードを使用すると、動画撮影が自動的に終了することがあります。動画が記録できるカードについては、[動画が記録できるカード](#)を参照してください。なお、書き込み速度については、カードメーカーのホームページなどで確認してください。
- カードへの書き込み／読み取り速度が遅くなったときは、カードを初期化してください (🔍)。
- 動画撮影を開始してから59秒経過すると、動画撮影が自動的に終了します。

## 動画撮影時に画面がちらつく／横縞が写る

---

- 蛍光灯やLED照明などの光源下で動画撮影を行うと、画面のちらつきや、横縞（ノイズ）や露出ムラが記録されることがあります。また、露出（明るさ）や色あいの変化が記録されることがあります。

## 動画撮影時に被写体がゆがむ

---

- 動画撮影中にレーザー距離計を左右に動かしたり（パンニング）、動きのある被写体を撮影すると、像がゆがんで写ることがあります。

## 動画撮影時に静止画が撮影できない

---

- 動画撮影時に静止画は撮影できません。動画撮影を終了して、静止画撮影を行ってください。

## 操作関連

本体の動作が不安定になる。本体のボタンが操作できない。

- 本体内部にエラーが起きている可能性があります。〈MENU〉ボタンと〈●〉ボタンを同時に約8秒間押して、本体を強制的にシャットダウンします。その後しばらく待ってから、電源ボタンを押して電源を入れてください。

## 表示関連

撮影年月日／時刻が正しく表示されない

- 日付/時刻が正しく設定されているか確認してください (🔗)。
- エリア、サマータイムの設定を確認してください (🔗)。

## 再生関連

画像（静止画／動画）が再生できない

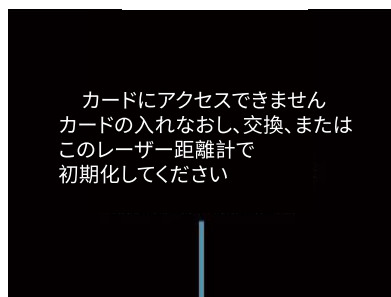
- 他のカメラなどで撮影した画像は再生できないことがあります。
- パソコンで編集した動画はレーザー距離計で再生できません。

動画を再生すると作動音や操作音がする

- 動画撮影中のオートフォーカスの駆動音や操作音などが一緒に録音される場合があります。

# エラーメッセージ

---



(1)

## (1) 原因・対処方法

レーザー距離計に異常が発生すると、エラー画面が表示されます。表示される内容に従って対応してください。

問題が解決しないときは、エラーメッセージを控えて、修理をご依頼ください。

# 情報表示

測距撮影画面

再生画面

## 測距撮影画面



(1) 倍率

十字レチクル

(2) ー測定したい目標物に照準を合わせます。目標物をマークの中央位置に合わせます。

(3) SLOPE（スロープ補正值）yd/測距値はyd  
---. yd 測距失敗

(4) 露出補正量

(5) 測距撮影マーク

(6) 温度上昇警告

(7) 撮影可能枚数

(8) バッテリー残量

(9) 動画撮影可能時間／撮影経過時間

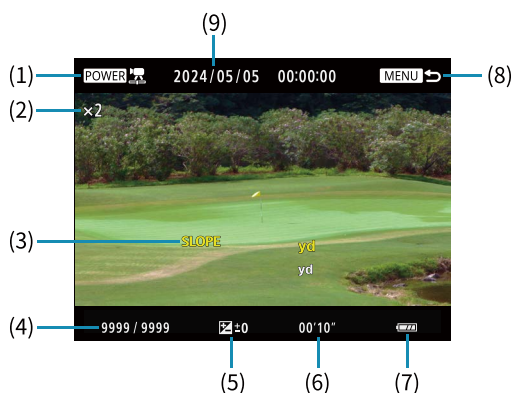
(10) 動画撮影制限

(11) 測定単位（yd：ヤード/m：メートル）

(12) 🚩 ピンロックマーク（近距離優先）

(13) S 連続測距マーク

## 再生画面



- |     |                         |
|-----|-------------------------|
| (1) | 動画再生                    |
| (2) | 倍率                      |
| (3) | SLOPE（スロープ補正值）yd/測距値はyd |
| (4) | 再生番号／総記録画像数             |
| (5) | 露出補正量                   |
| (6) | 動画記録時間                  |
| (7) | バッテリー残量                 |
| (8) | 戻るアイコン                  |
| (9) | 撮影日付                    |

### ⚠ 注意

- 他のカメラなどで撮影した画像は、一部の撮影情報が表示されないことがあります。
- このレーザー距離計で撮影した画像は、他のカメラで再生できないことがあります。

# 主な仕様

---

## 「レーザー測距」

### 測距範囲（直線距離）

約7.0～800yd. / 約6.4～732m

### 測定精度（直線距離測定時、キヤノン試験基準による）

100yd. (91m) 未満  $\pm 1.0$ yd. ( $\pm 0.91$ m)

100yd. (91m) 以上  $\pm 2.0$ yd. ( $\pm 1.83$ m)

### 表示ステップ

加減算距離（上段）：0.5yd./0.5m

直線距離（下段）：0.5yd./0.5m

### レーザー規格

IEC 60825-1：Class 1 Laser Product

FDA 21 CFR Part 1040.10：Class 1 Laser Product

## 「ファインダー」

### 型式

OLEDカラー電子ビューファインダー

### 画面サイズ

0.39型

### ドット数

約236万ドット

### 視野率

約100%（アイポイント約20mm時）

### アイポイント

約20mm（ $-1\text{m}^{-1}$ 時/接眼レンズ最後尾から）

## 視度調整

約 $-3.0 \sim +1.0 \text{m}^{-1}(\text{dpt})$

## 実視界

ズーム約410mm時

動画撮影時以外：約 $6.0^\circ$

動画撮影時：約 $5.5^\circ$

ズーム約820mm時

動画撮影時以外：約 $3.0^\circ$

動画撮影時：約 $2.8^\circ$

## 「撮影機能」

## 撮像素子

1/3型CMOSセンサー

## 有効画素数

最大約1100万画素

\*総画素数：約1350万画素

## ISO 感度（静止画／動画撮影時）

ISO100 ～ 3200 自動設定

## シャッタースピード

自動設定（1/8000 ～ 1/30 秒）

\*ファインダー内にシャッタースピードは表示されない

## 測光方式

中央重点平均測光

## 「レンズ」

### 焦点距離

51.0mm（35mm判換算：約410mm相当）

### 望遠鏡倍率

#### 約410mm 相当時

静止画撮影時：約 6 倍      動画撮影時：約 6 倍

#### 約820mm 相当時（デジタルズーム時）

静止画撮影時：約12倍      動画撮影時：約12倍

### FNo.

3.9（絞りなし）

### 撮影範囲

約4.4yd.（約4.0m）～∞

### 手ブレ補正機能

レンズシフト方式

### 記録メディア

microSD / microSDHC / microSDXC メモリーカード

\*UHS-I対応

### 記録方式

#### 記録画像形式

DCF2.0、Exif2.31に準拠

#### 記録画像タイプ

静止画：JPEG

動画：MP4

## 静止画記録

### 記録画素数

約1100万画素（3840 X 2880）

\*記録画質の変更不可

\*望遠側は、デジタルズームのため画質が低下します

### アスペクト比

横 4：縦 3

## 動画記録

### 動画記録形式

|            |                     |
|------------|---------------------|
| コンテナフォーマット | MP4                 |
| 映像         | H.264 / MPEG-4 AVC  |
| 音声         | MPEG-4 AAC-LC（ステレオ） |

### 動画記録画質

#### 動画記録サイズ

フルHD：1920 X 1080

\*動画記録サイズの変更不可

\*望遠側は、デジタルズームのため画質が低下します

#### フレームレート

NTSC 設定時：30.00fps / 24.00fps

PAL 設定時：25.00fps

### 一回の撮影上限時間

0分59秒

## 総記録可能時間

|       |        |
|-------|--------|
| 8GB   | 最大33分  |
| 32GB  | 最大132分 |
| 128GB | 最大530分 |

## 要求カード性能（動画撮影）

SDスピードクラス6以上

## ビデオ方式

NTSC / PAL

## 録音マイク

内蔵ステレオマイク

\*外部マイク入力端子なし

## オートフォーカス

オートフォーカス方式

コントラスト検出方式

## 外部インターフェース

### 端子形状

USB Type-C™

## 使用バッテリー

充電式リチウムイオン電池を本体に内蔵

\*ユーザー交換不可

## 充電可能温度

約 +5°C～+40°C／Approx. 41°F～104°F

## 静止画撮影可能枚数

約200枚

\* 新品・バッテリーフル充電時、常温+23°C / 73°F

## 動画撮影可能時間

約1時間10分

\*新品・バッテリーフル充電時、常温+23°C / 73°F

## 防滴性能

IPX4相当

\*防塵は非対応

## 大きさ・質量

### 大きさ

幅約31.0 X 高さ約58.9 X 奥行約91.2mm

Approx. 1.22 (W) X 2.32 (H) X 3.59 (D) in.

### 質量

約151g（カードを含む）／約150g（本体のみ）

Approx. 5.33 oz（カードを含む）／Approx. 5.29 oz（本体のみ）

## 動作環境

### 使用可能温度

0～+40°C（32～104°F）

### 使用可能湿度

10 ～ 90%

# 本製品を廃棄するときは

本製品に使用しているバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。使用済みの製品を廃棄する際はバッテリーを取り出し、リサイクルにご協力ください。廃棄の前には以下をよくお読みになり、ご理解の上バッテリーを取り出してください。以下の記載に反する行為などによる損害については、当社では一切の責任を負いかねます。



- 火災・感電・けがの原因となるため、製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
- 分解の前には、必ず充電ケーブルを本体から外してください。
- 本体を分解する際にネジなどの小さい部品が出てきます。小さい部品を誤って口に入れないよう、小さなお子様の手の届かない所で分解してください。万一飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。



**Li-ion**

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。  
ホームページ： <http://www.jbrc.com>
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

## ⚠ 注意

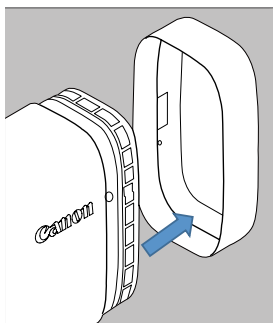
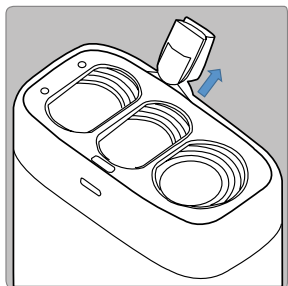
- 使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。

## 📖 参考

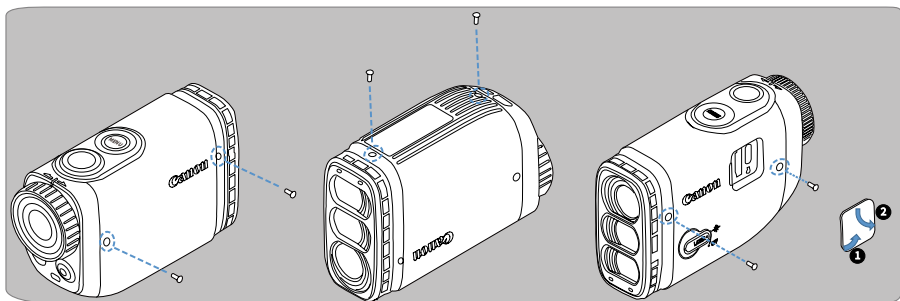
- ねじの取り外しには、M1.4のプラスネジに対応したプラスドライバーの使用をおすすめします。

1. レーザー距離計の電源を切る

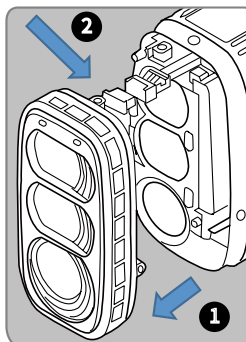
2. 図のように、フロントカバーのゴム部分を上に引っ張って、取り外します。



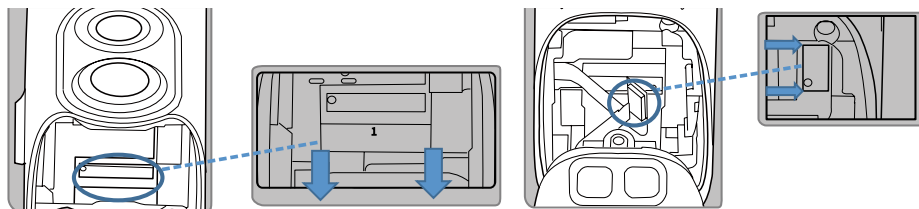
3. プラスドライバーを使ってねじを外します（6 個）。カード / 端子カバーを上向きにこじ開けて（①）、90°回転させて開き（②）、取り外します。



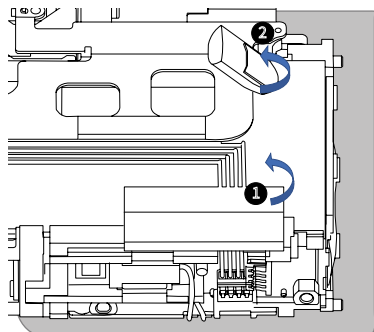
4. レーザー距離計のフロントカバーを引き出し (①)、コネクタを外します (②)。



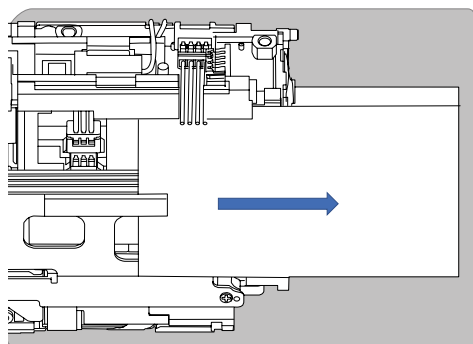
5. FPC コネクタを取り外します (2箇所)。



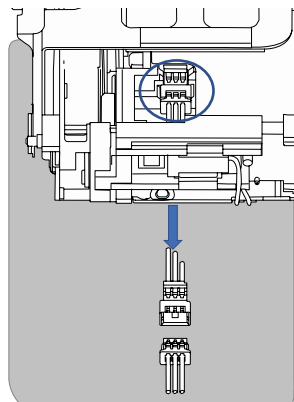
6. 電池を外す前に、片面テープ（黒色）をはがします（①）。電池を引き出す際に板金を少し手前に少し持ち上げます（②）。



7. 電池スライドさせて引き出す。



8. 電池コネクタをはずす。



# 商標・ライセンスについて

---

[!\[\]\(c14cd351b1be91b64a603cb82ab9720a\_img.jpg\) 商標について](#)

[!\[\]\(1a5f12940dbca52cd581b31f3020c4f6\_img.jpg\) MPEG-4 使用許諾について](#)

[!\[\]\(04ceb879ccd80492402b39dcfb8ea93a\_img.jpg\) アクセサリーについて](#)

## 商標について

---

- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
  - App Store、macOS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
  - Google Play および Android は Google LLC の商標です。
  - IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
  - QR コードは、株式会社デンソーウェーブの商標です。
  - microSDXC ロゴは、SD-3C、LLC. の商標です。
  - USB Type-C ™および USB-C ™は USB Implementers Forum の商標です。
  - DCF\* は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
  - その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- \* DCF は、主としてデジタルカメラの画像を関連機器間で簡便に利用しあうことを目的として制定された（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の規格の「Design rule for Camera File System」の略称です。

## MPEG-4 使用許諾について

---

"This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard."

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

\* 規定により英語で表記しています。

## アクセサリーについて

---

### アクセサリーはキャノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キャノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキャノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。